

令和3年度

島根県高等学校総合体育大会実施時における
新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドライン

令和3年4月1日

島根県高等学校体育連盟

島根県教育委員会

I はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、島根県高等学校体育連盟（以下、「本連盟」という）は第58回島根県高等学校総合体育大会（以下、県総体という）の中止を決定した。県総体の代替大会として14競技種目を開催することができたが、高校生活の集大成として考えていた高校3年生の中には、成果を発表する場を失った生徒がいたという事実は否定できない。

現段階でも、新型コロナウイルス感染症の収束については、見通しが立たないような状況にあるが、厚生労働省においては、新型コロナウイルス感染症との共存の中での「新たな生活様式」の実践例を公表している。また、公益財団法人日本スポーツ協会においては、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を策定し、新型コロナウイルス感染対策を踏まえた上でのスポーツイベントの開催について関係組織団体に示している。

島根県では、令和2年7月以降、多くの競技専門部が、特に中央競技団体が示すガイドライン等を参考にしながら感染症対策を行った上で、県内での各種大会を実施できるようになってきた。

この度、令和3年度の県総体が安全・安心な形で開催できるために、「令和3年度島根県高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドライン」を作成することとした。

ガイドラインの作成に当たっては、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「令和3年度全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」（全国高等学校体育連盟）、及び「県立学校の部活動実施に関する段階的スケジュール」（島根県教育委員会）等を踏まえて作成している。

県総体は教育活動の一環として実施するものである。選手のみならず全ての大会関係者の安全・安心の確保は最優先事項であるという点は不変であり、このことを踏まえ、ガイドラインの内容がより安全な大会運営に資する一助になれば幸いであり、県総体以外の県内各種大会において、各専門部で参考とされたい。

なお、今後の新型コロナウイルス感染状況及びこれに関する知見の集積等によりガイドラインを見直すことがあり得ることについてご留意いただきたい。

Ⅱ 基本的な考え方

【ガイドラインの作成に当たって】

- 1 ガイドラインの作成に当たっては、国や日本スポーツ協会及び県教育委員会などが示すガイドライン等を基本として作成する。
- 2 競技別の感染症拡大防止対策の実施に当たっては、競技特性に応じた対応の必要性から当該中央競技団体が示す内容を尊重する。
- 3 競技別感染症拡大防止対策の作成に当たっては、競技専門部と連携を図り、内容等を整理する。

【コロナ禍における大会運営について】

- 1 選手・役員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項とする。
- 2 大会実施の可否、実施時における応援者及び観客への対応等重要事案の決定に際しては、関係機関等と連携を図り、本連盟が決定する。
なお、判断時期等については適切な時期に別途文書で通知する。
- 3 各競技の運営に当たっては、開催地自治体及び使用する施設等が示す感染症拡大防止に向けた方針等に従うものとする。
- 4 競技別の開始式・閉会式及び諸会議等については感染拡大防止の観点から、中止または必要最小限の規模での実施等、検討する。
- 5 大会の開催に当たっては、開催経費全体の削減についても最大限の努力をする。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止について】

- 1 三つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）を回避する。
- 2 身体的距離（ソーシャルディスタンス）を確保する。
- 3 手洗いを徹底する。
- 4 マスクの着用を徹底する。ただし、熱中症や競技特性に応じた対応に留意する。
- 5 屋内競技の実施においては、定期的な開窓等により換気に留意する。

Ⅲ 感染拡大防止策の概要

1 全般的な事項

- (1) 競技専門部は、感染防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき項目をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- (2) 競技専門部は、各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- (3) 大会参加者（選手、顧問、監督・コーチ等、補助役員生徒等）及び大会役員（来賓、総務、競技、審判等）は、「健康チェックシート表（様式1）」を大会2週間前から大会参加終了日まで記入し、万が一感染が発生した場合に備え、2月以上保存しておくこと。なお、大会終了後も2週間程度は健康チェックシートを記入しておくことが望ましい。
- (4) 顧問は、「健康チェック提出用シート（様式2）」を大会参加期間中の毎日、競技専門部へ提出すること。
- (5) 競技専門部は、顧問から提出された「健康チェック提出用シート（様式2）」について、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、2月以上保存しておくこと。
- (6) 参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- (7) 大会参加者及び大会役員は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には、競技専門部に対して速やかに報告すること。競技専門部は、県高体連に報告するとともに、会場等で同一空間に居た者の在籍する学校長に対し、陽性者が発生したことについて情報提供を行うこと。

2 当日の参加受付時の留意事項

競技専門部は、大会当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行うこと。

- (1) 受付には、手指消毒剤を設置すること。
- (2) 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- (3) 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- (4) 人と人とが対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽すること。
- (5) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある人は入場しないよう、貼紙等により注意を促すこと。
- (6) 新型コロナウイルス接触確認アプリや各地域で取り組まれている通知サービスを活用することも考えられる。

3 大会参加者への対応

(1) 体調の確認

競技専門部は、大会参加者及び大会役員に以下の事項が記載された「健康チェックシート表（様式1）」を大会2週間前から大会参加終了日まで記入させること。なお、大会参加期間中は学校ごとに「健康チェック提出用シート（様式2）」を毎日提出させること。提出に際しては、個人情報の取扱いに十分注意し、顧問等が責任を持って提出すること。

- ① 大会当日の体温
- ② 大会前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳、喉の痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

- エ 臭覚や味覚の異常
- オ 体が重く感じる、疲れやすい等
- カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
- キ 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
- ク 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触

【大会参加について】

- 1 参加校は大会参加について、別表「大会参加判定基準」により適切に判断すること。
- 2 競技専門部は、大会参加者及び大会役員の大会関係者に、当日 37.5℃以上の発熱がある場合や風邪症状（咳・咽頭痛、だるさ・息苦しさ、味覚・臭覚障害等）がある場合は、大会に参加させないことを徹底すること。
- 3 大会期間中に、大会関係者（参加者及び役員）の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携を図り、対策を講じる。特に生徒については、体調を確認するとともに、安全に帰宅させる等の対応をすること。

(2) マスク等の準備

引率責任者（顧問教員等）は、大会参加者がマスクを準備しているか確認するとともに、着用について指導すること。なお、競技中のマスク着用は大会参加者の判断によるもの（*）とするが、参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間、特に会話をする時には、マスクを着用すること。

（*）マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知すること。

(3) 大会参加前後の留意事項

大会参加者は、大会前後のミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用する等の感染対策に十分配慮すること。

4 競技専門部が準備すべき事項

(1) 手洗い場所

競技専門部は、参加者が大会開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保すること。

- ① 手洗い場所には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ② 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- ③ 手洗い後に手を拭くため、参加者にハンカチやマイタオル等を持参させること。
- ④ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。
- ⑤ ジェットタオルは稼働を停止すること。

※学校単位及び個人単位で手指消毒剤を準備させることも考えられる。

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意すること。

競技専門部は、更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備をすること。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
- ③ 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、可能な限り消毒をすること。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

(3) 洗面所（トイレ）

洗面所（トイレ）についても感染リスクが比較的高いと考えられることに留意すること。

競技専門部は、洗面所（トイレ）について、以下に配慮して管理すること。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、可能な限り消毒すること。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- ④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- ⑤ 手洗い後に手を拭くため、参加者にハンカチやマイタオル等を持参させること。
- ⑥ ジェットタオルは稼働を停止すること。

(4) 飲食等について

競技専門部は、参加者が飲食をする際は、以下に配慮すること。

- ① 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声をかけること。
- ② 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないこと。
- ③ 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。

(5) 観客の管理

競技専門部は、会場に観客を入れる場合には、以下に配慮し周知すること。

- ① 非接触型体温計等を使用して検温し、37.5℃以上の場合は入場を断ること。
- ② 観客同士が密とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らす等の対応をとること。
- ③ 大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること。

(6) 大会会場

大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。

具体的には、換気設備を適切に運転することや、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。

(7) ゴミの管理

参加者にゴミを持ち帰ることを義務付けるとともに、その内容を周知すること。

5 大会参加者の留意点

競技専門部は、大会参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底すること。

(1) 十分な距離の確保

競技の種類に関わらず、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（感染予防の観点からは、できるだけ2mを目安に、最低1m）を空けること。運動強度が高い競技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。

(2) その他

- ① 競技中に、唾や痰をはくことは行わないこと。
- ② タオルの共用はしないこと。
- ③ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- ④ 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てないこと。

6 その他の留意事項

- (1) 宿泊に関しては、宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。
- (2) バスの輸送に関しては、「貸し切りバスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に従うこと。
- (3) 競技別の内容については、各中央競技団体において、競技特性に応じ、各競技別に作成したガイドラインを参考に各競技別に作成すること。

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト（競技専門部向け①）

全般的な事項

- 競技専門部は、感染防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき項目をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- 競技専門部は、各事項が遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- 大会参加者（選手、顧問、監督・コーチ等、補助役員生徒等）及び大会役員（来賓、総務、競技、審判等）は、「健康チェックシート表（様式1）」を大会2週間前から大会参加終了日まで記入し、万が一感染が発生した場合に備え、2月以上保存しておくこと。なお、大会終了後も2週間程度は健康チェックシートを記入し活用することが望ましい。
- 顧問は、「健康チェック提出用シート（様式2）」を大会期間中の毎日、競技専門部へ提出すること。
- 競技専門部は、顧問から提出された「健康チェック提出用シート（様式2）」について、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、2月以上保存しておくこと。
- 参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- 大会参加者及び大会役員は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には、競技専門部に対して速やかに報告すること。競技専門部は、県高体連に報告するとともに、会場等で同一空間に居た者の在籍する学校長に対し、陽性者が発生したことについて情報提供を行うこと。

大会参加者への対応

- 大会参加者及び大会役員に以下の事項が記載された「健康チェックシート表（様式1）」を大会2週間前から大会参加終了日まで記入させること。なお、大会参加期間中は学校ごとに「健康チェック提出用シート（様式2）」を毎日提出させること。提出に際しては、個人情報の取扱いに十分注意し、顧問等が責任を持って提出すること。
 - 大会当日の体温
 - 大会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳、喉の痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
 - 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触
- マスク等の準備
 - 大会参加者がマスクを準備しているか確認すると同時に、着用について指導すること。
 - 参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間については、マスクを着用すること。（競技中のマスク着用は大会参加者等の判断によるものとする）
- 大会参加前後の留意事項
 - 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
 - 会話時にマスクを着用する等の感染対策に十分配慮すること。

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト（競技専門部向け②）

当日の参加受付時の対応

- 受付には、手指消毒剤を設置すること。
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと。
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- 人と人とが対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽すること。
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある人は入場しないよう、貼紙等により注意を促すこと。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリや各地域で取り組まれている通知サービスを活用することも考えられる。

競技専門部が準備すべき事項の対応

- 手洗い場所
 - 手洗い場所には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
 - 手洗い後に手を拭くため、参加者にハンカチやマイタオルを持参させること。
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。
 - ジェットタオルは稼働を停止すること。
※学校単位及び個人単位で手指消毒剤を準備させることも考えられる。
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
 - ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。
 - 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、可能な限り消毒すること。
 - 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。
- 洗面所（トイレ）
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、可能な限り消毒をすること。
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
 - 手洗い後に手を拭くため、参加者にハンカチやマイタオルを持参させること。
 - ジェットタオルは稼働を停止すること。
- 飲食等について
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声をかけること。
 - 飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないこと。
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。
- 観客の管理
 - 非接触型体温計等を使用して検温し、37.5℃以上の場合は入場を断ること。
 - 観客同士が密とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らす等の対応をとること。
 - 大声での声援を送らないことや会話を控えること。
 - 会話をする場合にはマスクを着用すること。
- 大会会場
 - 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと。
 - 換気設備を適切に運転すること。
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと。
- ゴミの管理
 - 参加者にゴミを持ち帰ることを義務付けるとともに、その内容を周知すること。

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト（参加者向け）

参加者が遵守すべき事項

- マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に最低1m）を確保すること。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、競技専門部に対して速やかに報告すること。競技専門部は、報告があった場合には、本連盟に報告するとともに関係機関の求めに応じて対応すること。
- 大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。

参加者の留意点

- 十分な距離の確保
 - 競技の種類に関わらず、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（*）を空けること。
 - （*）感染予防の観点からは、できるだけ2mを目安に、最低1mを空けることが適当である。
 - 運動強度が高い競技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。
- 競技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- タオルの共用はしないこと。
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- 飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てないこと。

健康チェックシート

学校名 所属		氏名	
-----------	--	----	--

【チェック項目】

- ア・平熱を超える発熱
- イ・咳、喉の痛みなど風邪の症状
- ウ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- エ・嗅覚や味覚の異常
- オ・体が重く感じる、疲れやすい等
- カ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
- キ・同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
- ク・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触

NO	月	日	曜日	体温	上記ア～クの各項目に該当すれば○を入れる								
					ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	
1	月	日		℃									
2	月	日		℃									
3	月	日		℃									
4	月	日		℃									
5	月	日		℃									
6	月	日		℃									
7	月	日		℃									
8	月	日		℃									
9	月	日		℃									
10	月	日		℃									
11	月	日		℃									
12	月	日		℃									
13	月	日		℃									
14	月	日		℃									
大会前日まで14日													
15	月	日		℃									
16	月	日		℃									
17	月	日		℃									
18	月	日		℃									
19	月	日		℃									
20	月	日		℃									
21	月	日		℃									
22	月	日		℃									
23	月	日		℃									
24	月	日		℃									
25	月	日		℃									
26	月	日		℃									
27	月	日		℃									
28	月	日		℃									

健康チェック提出用シート

令和 年 月 日

学 校 名	
競 技 名	
提出者氏名	【引率責任者（顧問教諭等）】

- 大会2週間前から当日までの健康状態を総合的に判断し、参加できない者が

い る	い ない
-----	------

(いずれかに○印)

「いる」に○印をされた場合、参加できない生徒人数と、チーム参加に関わることもあるため、その理由を詳しく記入してください。

不参加生徒人数	理由 ※新型コロナウイルス感染症関係のものに限る
人	

不参加生徒が複数人いる場合は、それぞれの理由を記載してください。

※大会参加期間中、毎日、競技専門部受付に必ず提出してください。

【大会参加判断基準】

本人の状態	大会参加の可否	本人	チーム
過去14日間を含め、大会期間中の体調不良なし(※1)	・自身の体調(※1)を確認し顧問へ報告。 顧問は、様式2「健康チェック提出用シート」により競技専門部へ報告すること。	可	可
過去14日間で体調不良があったが、大会前日までに症状消失	・医師の診断等により、新型コロナウイルス感染の疑いがないことを学校が確認した場合は参加可能とする。 ・自身の体調(※1)を確認し顧問へ報告。 顧問は、様式2「健康チェック提出用シート」により競技専門部へ報告すること。	条件付き可	
大会期間中に体調不良あり	・本人は参加不可。 ・チームの参加は、当該チーム関係者と大会主催者と協議の上決定する。	不可	協議
検査対象者(※2)	・検査結果が判明するまでは参加不可 ・大会当日までに検査結果が陰性と判明した場合は参加可とする。 ・チームの参加は、当該学校長と大会主催者と協議の上決定する。	検査結果が判明するまでは不可 ※陰性と判明した場合は可	
濃厚接触者または感染が判明した者	・本人は参加不可。 ・チームの参加は、保健所及び医療機関等の助言をもとに、当該学校長と大会主催者と協議の上決定する。	不可	

※1 体調不良・・・発熱(37.5℃以上)、咳・喉の痛み、だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、嗅覚や味覚の異常等の症状。

※2 検査を受ける者全員。

なお、上記の表は、県高体連および県教育委員会が示す全体的な参加判断基準であり、競技の特性等により、中央競技団体等から、これよりも厳しい判断基準を示される場合も考えられますので、大会運営にあたっては、より厳しい判断基準の方を採用することを徹底してください。

体調チェック表

令和 年 月 日

氏名	
競技種目	
大会会場名	
携帯番号等	

- ・新型コロナウイルス感染症防止対策のため、会場に入られる一般の皆様へ提出をお願いいたします。
- ・体調等について、以下の項目に記入いただき、会場に入られる場合は必ず提出をしてください。
- ・会場では、必ずマスクの着用をお願いいたします。
- ・その他、競技専門部の指示に従っていただきますようお願いいたします。

●当日の体温をご記入ください。

体温	℃
----	---

●下記の症状に一つでも該当する場合は、会場への入場を控えていただきますようお願いいたします。

症状等	どちらかに○を付けてください
現在、発熱（37.5℃以上）がある。	はい・いいえ
咳、呼吸困難（息苦しさ）、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉（鼻づまり）、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気（吐き気）、嘔吐、味覚障害、嗅覚障害などの症状がある	はい・いいえ
過去2週間以内に発熱があった。	はい・いいえ
2週間以内に法務省・厚生労働省が定める諸外国への渡航歴がある（及びそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある）	はい・いいえ
2週間以内に新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者（同居者・職場内での発熱含む）との接触歴がある	はい・いいえ
新型コロナウイルスの患者に濃厚接触の可能性があり、待機期間内（自主待機も含む）である	はい・いいえ

※この体調チェック表は、2週間保管した後、破棄します。

※感染者、またはその疑いのある方が発見された場合には、保健所等に情報を提供することがありますので、あらかじめご了承ください。